

入場無料

市民啓発シンポジウム「人生の最終段階について考える」

日時：令和元年10月24日（木）14:00～16:30（開場13:30）

会場：横浜関内ホール 大ホール

先着 800名

住所：神奈川県横浜市中区住吉町4-42-1（最寄駅：関内駅）

# 『人生の最期を自宅で迎えるために何が必要か』

- ・ご挨拶 横浜市医師会 会長 水野 恭一 氏
- ・シンポジウム (座長) 横浜市医師会 常任理事 小川 憲章 氏
- 1部「自宅で最期を迎えるにはいくらかかるの？」 横浜市医師会 常任理事 赤羽 重樹 氏
- 2部「自宅で最期まで過ごす条件とは」 港北区医師会会長 鈴木 悦朗 氏  
日横クリニック 院長
- 3部「もう一回」となればやりません ～家族の体験談 大垣佐智子 氏
- ・横浜市の現状 横浜市医療局 局長 修理 淳 氏

「最期は自宅で」と希望される方は多くおられます。しかし、実際にどのくらい費用は掛かるのだろうか、誰に相談すれば良いのだろうか、一人暮らしでも最期まで家に居られるのだろうか、今から何を準備しておけばよいのだろうか。これまで「人生の最終段階について考える」シンポジウムを5回開催し、終了後のアンケートでいただいたご要望にお答えする企画です。さらに今回は、夫を自宅で10年間介護し看取った妻が、「自分はやり切った。でももう一度となれば・・・」その真意はどこにあるのか。対談形式でその体験と想いを語っていただきます。

講演の様子はインターネットにてライブ中継を行います。

ライブ中継アドレスは、横浜市医師会ホームページ（下記アドレス）にて発表致します。

<http://www.yokohama.kanagawa.med.or.jp/>



対象：一般市民、在宅医療を担う医療関係者等  
どなたでもご参加いただけます。  
(手話通訳あり)

主催 一般社団 横浜市医師会、共催 横浜市医療局  
〈お問い合わせ先〉一般社団法人 横浜市医師会  
横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階  
TEL：045-201-7366 FAX：045-201-8768